

<看護学専攻>

専門科目

問題 以下の設問から一つを選び、回答しなさい。

設問 1

厚生労働省では、2007年に、人生の最終段階における医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み、「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」（以下、ACPとする）の指針を示した。また2019年11月には、一般公募により決定した愛称の「人生会議」を公表した。

出典:厚生労働省HP, URL:https://www.nhlw.go.jp/stf/newpage_02615.html, 参照 2019-11-25.

厚生労働省が、「ACP/人生会議」を推奨する背景として考えられること、および「ACP/人生会議」に関連した、これまでのあなた自身の具体的な体験や実践、今後の展望を800字以内で述べなさい。

具体的な体験や実践が無い場合は、今後あなたの職務上でどのように「ACP/人生会議」に取り組んでいけるか、または取り組みたいか、今後の展望を800字以内で述べなさい。

設問 2

文部科学省中央教育審議会は、2040年頃を見据えた高等教育の将来構想について総合的に検討することを目的とし、「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」を公表した（2018年11月26日）。2040年という時代は2018年に生まれた子どもたちが、大学（学部）を卒業するタイミングであり、わが国は課題先進国として、世界の国々が今後直面する課題にいち早く対応していくことが必要となる。答申では2040年頃の社会変化の方向として、次の5点が挙げられている。

1. SDGs（持続可能な開発のための目標）が目指す社会
2. Society 5.0，第4次産業革命が目指す社会
3. 人生100年時代を迎える社会
4. グローバル化が進んだ社会
5. 地方創生が目指す社会

出典：2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）。平成30年11月26日。中央教育審議会。

これら5つの社会変化の方向は、看護学教育においても看過できない重要な事項であると推察できる。

上記の5つの社会変化の方向のうち、一つを選択し、①選択した社会変化の方向についての説明、②看護学教育の現状、③看護学教育の課題、④今後どのような看護学教育であるべきか、について自分の考えを800字以内で述べなさい。